

大石じんじやにまつられている大石よしとかがなにをしたのか、というはなしです。

それは、「あだうち」です。しかし、江戸時代のことですし、この「あだうち」は「すばらしいかたきうち」とみんなにほめられました。

そもそも、浅野内匠頭あさのたくみのかみという大石のとのさまが江戸城えどじょうで吉良上野介きらこうすけのすけというべつとのとのさまにきりかかったことがきっかけです。しょうぐんのおしろでかたなをふりまわしたのですからたいへんです。

すぐに浅野内匠頭あさのたくみのかみは「せつぷく」を命じられました。

吉良上野介きらこうすけのすけは少しけがをしましたでしたが、たいしたことにはなりませんでした。けんかであればどちらもばつをうけますが、吉良上野之介はかたなをぬいていなかったのでけんかではない、いっさいおとがめなし、ということでした。

でも赤穂藩あこうはんはとのさまがそんなことをしたので、「おとりつぶし」になり、そのぶしは、みんなさむらいでなくなることになったのです。これはけしからん、よほどのことがあったにちがいない、われわれみんなでののかたきうちをしよう、とけらいはひそかにきめたのです。

これはあくまでも、ひみつでした。もし、ばれたらつかまります。それで、けらいの中でいちばんえらい大石がリーダーになってこっそりけいかくをたてて四十七人で吉良のやしきをおそい、吉良のくびをとったのです。（討ち入り）

このじけんは江戸の人々に大ウケでした。それでこそさむらいだということで、おしばいなどにとりあげられたのです。でも「討ち入り」はみとめられておらず、ぜんいん「せつぷく」させられたんです。

おんどくサイン↓

① なんのはなしでしょう？

（

② かたきうちのいみをしらべてかきましよう。

（

③ 大石良雄のとのさまのなまえはなんですか？

（

④ けらいの反対ことばをさがしてかきましよう。

（

⑤ ばつをうけないことを六文字でなんとかいていますか？

（

⑥ だれがかたきとされたのですか？

（

⑦ 藩はんがなくなってぶしが浪人になることを六文字でなんとかいてあるかぬきだましよう。

（

⑧ そんなこととはどんなことですか？

（

⑨ あっているものに○をつけましよう。

（

（ ） 江戸の人はこのじけんをきらった。

（ ） 大石良雄はせつぷくしてしんだ。

（ ） 吉良はせつぷくさせられた。

⑩ おもったことを五行でまとめましよう。

できばえは？



大石良雄がなにをしたのか、というはなしです。

それは「あだうち」です。しかし、江戸時代のことですし、この「あだうち」は「すばらしいかたきうち」とたえられました。

そもそも、大石の主君である浅野内匠頭が江戸城の松廊下で吉良上野介にきりかかったことがきっかけです。將軍のおひざもとでお殿様が刀をふりまわしたのですからたいへんです。

すぐに浅野内匠頭は切腹を命じられました。吉良上野介は肩と額を少し切られましたが、数針ぬってもらっただけで、たいしたことにはなりませんでした。

武士の世界では喧嘩両成敗といって、けんかであればどちらも罰せられるのがふつうでしたが、この場合は吉良上野之介は刀をぬいていなかったのでけんかではない、いっさいおとがめなし、ということでした。

でも赤穂藩は殿様がそんなことをしたのでおとりつぶし、仕官していた武士はみんな浪人になることになったのです。これはけしからん、お殿様はよほどのことがあって、たまりかねて吉良にきりかかれたのだ、われわれみんなでかたきうちをしよう、と家来はひそかに決めたのです。これはあくまでも、ひみつでした。もし、幕府にばれたら全員つかまります。それで、家老の大石がリーダーになってこっそり計画を立てて四十七人で吉良の屋敷をおそい、吉良の首をとったのです。（討ち入り）

この事件は江戸の人々に大ウケでした。それでこそ武士、ということ、お芝居などにとり上げられたのです。でも討ち入りはみとめられず、全員切腹させられたのです。

音読サイン↓

① 大石吉雄たちがしたことは何でしょう？

（ ）  
② かたきうちのいみをしらべてかきましよう。

（ ）  
③ 大石良雄のとのさまのなまえはなんですか？

（ ）  
④ けらいの反対ことばをさがしてかきましよう。

（ ）  
⑤ 罰せられないことを六文字でなんとかいいますか？

（ ）  
⑥ だれがかたきとされたのですか？

（ ）  
⑦ 藩がなくなつてぶしが浪人になることを六文字でなんとかいてあるかぬきだましよう。

（ ）  
⑧ そんなこととはどんなことですか？

（ ）  
⑨ あっているものに○をつけましよう。

（ ） 江戸の人はこのじけんをきらった。

（ ） 大石良雄は切腹して死んだ。

（ ） 吉良は切腹させられた。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましよう。

できばえは？



大石良雄が何をした人なのか、という話です。

それは「あだうち」です。しかし、江戸時代のことですし、この「あだうち」は「武士のほまれ」とたたえられました。

そもそも、彼の主君である浅野内匠頭が江戸城の松の廊下で吉良上野介にきりかかったことがきっかけです。江戸城ではその時、江戸幕府十五代將軍の徳川綱吉がお客をもてなしていたのです。將軍のおひぎもと、江戸城でお殿様が刀をふりまわしたのですから一大事です。

すぐに浅野内匠頭は切腹を命じられました。吉良上野介は肩と額を少し切られましたが、数針ぬってもらっただけで、たいしたことにはなりませんでした。

武士の世界では喧嘩両成敗といって、けんかであればどちらも罰せられるのがふつうでしたが、この場合は吉良上野之介が刀を抜いていなかったのでけんかではない、いっさいおとがめなし、ということでした。

でも赤穂藩は藩主がそんなことをしたのでおとりつぶし、仕官していた武士はみんな浪人になることになったのです。これはけしからん、お殿様はよほどのことがあつて、たまりかねて吉良にきりかかれたのだ、われわれみんなでかたきうちをしよう、と家来はひそかに決めたのです。これはあくまでも、ひみつでした。もし、幕府にばれたら全員つかまります。それで、家老の大石がリーダーになってこっそり計画を立てて四十七人で吉良の屋敷をおそい、吉良の首をとったのです。（討ち入り）

この事件は江戸の人々に大ウケでした。それでこそ武士、ということで、お芝居などに取り上げられたのです。でも討ち入りは認められておらず、全員切腹させられたのです。

音読サイン↓

① 大石吉雄たちがしたことは何でしょう？

（ ）

② ほまれ、の意味を調べて書きましょう。

（ ）

③ 大石良雄はだれに仕えていましたか？

（ ）

④ 家来の反対語を抜き出しましょう。

（ ）

⑤ 罰せられないことを六文字で何と書いていますか？

（ ）

⑥ かたきうちで、敵とされた人はだれですか？

（ ）

⑦ 藩がなくなって藩士が浪人になることを六文字で何と書いてあるかぬきだしましょう。

（ ）

⑧ そんなこととはどんなことですか？

（ ）

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ）

（ ） 江戸の人はこの事件をきらった。

（ ） 大石良雄は切腹して死んだ。

（ ） 徳川綱吉は切腹させられた。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

できればは？

